



長生村長

石井としお通信

<http://www9.ocn.ne.jp/~tishii/>

11年10月 第86号

石井としお後援会

長生村七井土 1387-2

電話 090-3094-0321

太陽光発電の設置に補助を決定。

今年の夏も猛暑が続き 7月の平均気温は関東地方でいいますと「平年より2.9度高く」夜中になっても温度が下がらず熱帯夜が続きました。心配された村の稲作は放射能検査が安全数値となり稲刈りも終了しました。また、待ち望んでいた中学校の本校舎が完成し8月28日には村民見学会を行ない、9月1日より子供達は元気に新校舎で勉強しています。



—中学校見学会・テープカット—

9月議会を再開しました。

9月13日～16日まで、9月議会が再開され一般会計補正予算では自然エネルギー再生に向けた太陽光発電設置への補助を盛り込み、人事案件として会計監査員の後任として「細谷基行」氏の同意と、固定資産評価員「麻生 隆」氏の

再任を頂きました。また、22年度一般会計、特別会計の決算は特別委員会を設置し慎重な審議を受けることになりました。さらに8人の議員より一般質問を受けました。一部ですが9月議会の報告となります。

記

一般会計補正予算は21,348千円で可決。主な事業です。

- ①太陽光発電設備導入事業 1,050千円。住宅用太陽光発電設備を新規に導入した方に発電量1kwあたり3万円(3.5kwを上限)を助成します。(建設課に申請)
- ②道路舗装整備事業 2,039千円 村道2097号線(上の原地先)の直営舗装(延長320m×幅4m)を実施。
- ③文化会館施設維持管理費 2,000千円。給水ポンプユニット及び給水管等の修繕。
- ④庁舎維持管理費 747千円。庁舎揚水ポンプの施設修繕を実施。
- ⑤長生郡市広域市町村圏組合負担金 3,884千円。中身は東日本大震災により犠牲となった消防団員等の救済の為、消防団員等公務災害補償等共済等に関する法律施行令の改正で本年度に限り掛

金を増額するための負担金増額として 3,587 千円。長生郡市保健センター屋根修繕に係る負担金増額として 297 千円。

⑥用排水路整備事業 1,082 千円

松潟土地改良区の実施する用水U字リューム修繕工事として 2,940 千円のうち 882 千円を補助。長生第 1 排水機場の除塵機ゴミ処分工事として 200 千円。

次に一般質問の一部を紹介します。

鈴木議員より「八積駅周辺の整備はどうなっているのか」

・村長…3 月 11 日の東日本大震災への災害復旧に向け国は多額のお金を災害復旧に向けていることや、今後も住民に幅広く意見を求めますので、「変更や見直しもありうる」かと思えます。また、駅南側の整備と北側の排水整備、駅ホームと跨線橋の雨対策などについてはスポット的な整備・対策ではなく八積駅を中心とした一体的な事業として「当面できること」に向け、検討を進めていく考えであります。

小高議員より「村長からの お悔やみ手紙の真意は」

・村長…今年の 4 月より役場に死亡届けを出された際、死体火葬許可書と併せて、「お悔やみの言葉」を村長名で届け出人にお渡ししています。この主旨は、村民の方がお亡くなりになりましたことに対し、村として弔意を表すため、今年度から手作りのもので実施しておりますので

理解ください。



福島新地町を災害視察

9 月 25 日～26 日にかけて長生郡町村会による定例会議と災害視察を行ってきました。会議では新会長に長柄町の成島町長、副会長に長生村長の石井が選出されました。災害視察では福島県新地町に出向き、佐藤副町長よりお話を聞きしました。「6 メートルの堤防を 15 メートルの津波が襲い、海岸から 1.5 キロの役場(海拔 10 メートル)に 50 センチの津波がきました。家屋全壊 500 件、死者は 100 名。海岸部は不居住地区とし、砂を盛り土し、新たな街づくりをします。



現在、常磐鉄道は再開できてなく大変困っています。想定外の津波被害を通じて思うことは、とにかく逃げるのが一番です。家族を心配し自宅に戻った方が亡くなっているのです。」とのことでした。役

場屋上から見ますと、一面原野のようでした。長生村も新たな防災津波マップの配布と10月29日には一松、信友、金田、七井土を対象とする避難訓練を実施する予定です。



長生母と女教師の会

8月20日、村の文化会館で「長生母と女性教職員の会」による平和集会に参加し、私は第5分科会の「平和教育と戦争体験」に参加しました。分科会では二人の長生村出身の方から貴重なお話を聞く事になりました。

Aさん「戦争で自宅のナベ釜や食料を抛出させられ、お国の為だと思って協力しました。私は教師になる為、千葉市の学校に行っていました。その学校で空襲を受けたのです。急いで防空壕に入りましたが、友達が見えないので、外に出て見ると、校庭一面が砂煙となり友人が血だらけになって倒れていました。私は二度と戦争の無い平和な国でほしいと思います。」

Bさん「私は教員の時には戦争体験の話はしませんでした。私の父は私が母のお腹にいるときに出征し帰らぬ人となり

ました。父の弟が戦地から帰ってきたので母と再婚し弟が生まれたのです。辛いときは一人空を見て、本当の父がいたらどうだったかな、と思ったこともありました。平和が大切です。」

Cさん「私は社会科の教師ですが授業の中で子供達に戦争をしてはいけない、平和が大切と話しています」との報告でした。

最後に山田先生より①戦争反対を一人になっても周囲の人に話せていない。②福島原発事故も「危険なので止めさせよう」とは、話せていない。③原子爆弾の恐ろしさを知ってもらう意味で子供達を現地に行かせることも大事だと思う。④大切なことは、なんでも話せる雰囲気です。とのことでした。



花いっぱい推進協議会

9月9日、暑い中、役場北側の畑で、花いっぱい推進協議会の皆さんによる作業を見ました。ミニ耕運機で畑を耕し、「キバナコスモス」を植える準備でした。皆様で、花いっぱい運動に参加して下さる方がいましたら「下水環境課」に問い合わせ下さい。また、他団体の皆さまの花づくりへの努力にも感謝しています。



JR 千葉支社に要請書

9月22日、JR千葉社長に対し、昨年12月より10時～午後4時まで八積駅に快速が停車するようになりましたが、今後は村民の強い要望もありますので朝夕の通勤通学時間帯にも、快速を停車してくださることを文書で要請しました。



野田村にサツマイモを

9月13日「イモ焼酎づくりの会」の皆さんが岩手県野田村にベニアズマ1トンを届けました。野田村村長からは「災害復旧は元地に住居を再建し、安全に避難できる道路整備をすることにした。」とのこと。現地に出向いた感想として「役場職員が復興に向け頑張っていた。遠かったけど被災地を直接見て勉強になりました。」とのことでした。

以下、後援会からの報告です。



今年も後援会でブドウ狩り

石井としお後援会で毎年取り組んできた山梨県へのブドウ狩りをおこないました。今年の巨峰は完熟で病気もなく最高のでき上がりでした。たわわに実ったブドウ畑で皆さん試食し、沢山のお土産をぶらさげ、帰ってきました。事務局長ましこ議員のバス司会進行で最後まで楽しく行ってきました。

編集後記

- ① 村の財源を強化する為にふるさと納税に協力しましょう。村外に居住されている方は住民税の一割を長生村に寄付することができます。手続きは各自治体役場・市役所で申請できます。
- ② 福島原発事故による節電で役場が努力した中身は「役場周辺の外灯を消し、部屋の蛍光灯は間引き、エアコンは28度設定。7月期で見ると昨年比25%の削減効果」とのこと。
- ③ 9月19日、東京で「さよなら原発集会」が6万人を集めました。主催者は大江健三郎、落合恵子さんら5人の呼びかけで、「原発廃止を求める1000万人署名を成功させよう。」とのことでした。